

# 輝け 田底っ子

第 30 号

文責：校長 益永 一幸

## 令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ①最後までがんばろう ②上手に伝え合おう ③自他を大切にしよう



## 通知表で学習や生活の様子を伝えています

～後期への「期待」「励まし」の言葉かけを～



本日「通知表」を渡しました。通知表は、学校における児童の学習や生活の様子を保護者に伝えるとても大切な働きをもっています。学業の優劣を表すものではありません。観点別の評価の「◎」などの増減に一喜一憂されることなく、通知表に記入された児童のよさや進歩の状況が家庭においても認め励まされると、その後の児童のやる気が高まります。通知表のよさを最大限に生かされるようお願いいたします。

令和3年度から熊本市では、通知表渡しを以前の3回渡しから、前半と後半の2回に変えています。そのことによって、以下のような効果が期待できます。

- ・日々変化する子どもたちの成長や変容を長いスパンで捉え、細かなデータを基に評価できる。
- ・学期末（7月・12月）も、長期休業直前までじっくりと授業ができる。
- ・長期休業（夏休み・冬休み）の学習の取り組みも通知表に反映することができる。
- ・評価のスパンが長くなることで、課題追求に継続的に取り組むことができる。
- ・学習面、生活面ともに、教師が子どもと向き合う時間が確保できる。

## 「田底小のきまり」の見つめ直し

～自分たちのきまりは、自分たちで作って、自分たちで守り、正しく判断し行動できる子どもに～

5年生と6年生に「田底小のきまりについて、なぜきまりを守った方がいいか。」のアンケートをとりました。一番多かった意見は、「安全で命を守るため。けががないようにするため。」でした。その理由として竹迫あつとさんは、「命より大切なものはないから。命を守るためにルールがある。だから守る。」という意見を書いていました。次に多かった意見は、「楽しく生活するため。仲良く生活するため。」でした。その理由として、田中あいこさんは、「意思や思いやりなどが成長できるからきまりを守る。」、加崎ひとしさんと角田こはるさんは、「きまりを守らないと、みんなが嫌な思いをするから。」という意見を書いていました。その他の意見として、「先生から怒られるから。きまりがないと自分のやりたい放題になってしまうから。平等になるため。」などの貴重な意見もありました。やっぱり「田底小学校のきまり」はあった方がいいし、「学校生活を安全に楽しく過ごすため」の大切なきまりのようです。

そこで、その田底小学校のきまりについて、以下の視点で見つめ直していきます。

- ① 田底小学校のきまりが、きちんと守られているものと守られていないものはないか。守られていないきまりはどうか。
- ② 安全に楽しく過ごすために付け加えた方がいいきまりはないか。